



雇用環境・教育機関

勤勉で創造力にあふれた若い人材が進出企業の大きな力になります



総人口 **1,204,343人**

(令和4年10月1日現在)

出典: 青森県「令和4年青森県の人口」

生産年齢人口 **649,436人**

(令和4年10月1日現在)



■採用しやすい環境

新卒者の求人倍率 **1.83倍**

(全国では3番目に低い倍率)

出典: 厚生労働省「令和4年度高校新卒者のハローワーク求人に係る都道府県別求人・求職・求職内定状況」

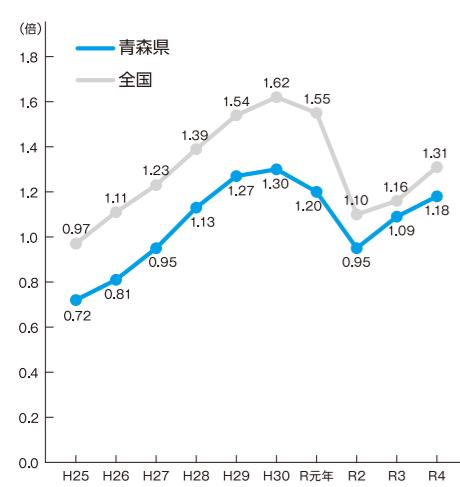
■県内就職率が6割超

高校新卒者の県内就職率 **62.6%**

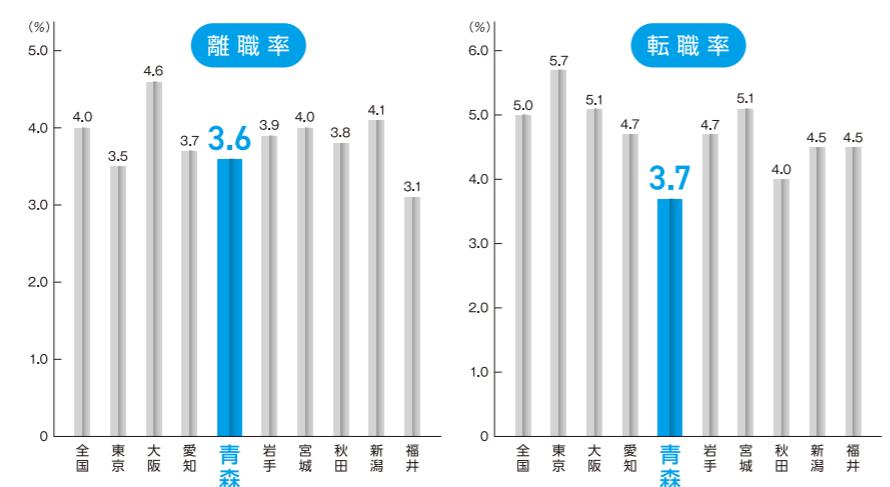
(60%を上回ったのは18年ぶり)

出典: 厚生労働省「令和4年3月新規高等学校卒業者の就職状況」

■有効求人倍率(青森県と全国比較)



■定着率が高い



働きやすさ



労働時間が短い

週60時間以上働く雇用者の割合

青森県 7.5%
(全国5位)

■東京都 10.4% ■全国平均 9.5%

出典: 総務省「平成29年就業構造基本調査」

通勤時間が短い

10歳以上の「通勤・通学」をしている人
(平日一日当たりの平均通勤・通学時間)

青森県 61分
(全国8位)

■神奈川県 100分 ■全国平均 79分

出典: 総務省「令和3年社会生活基本調査」

通勤コストが安い

年間一人あたりの通勤コスト

青森県 339,000円
(全国2位)

■東京都 1,004,000円

出典: 内閣府「地域の経済2017-地域の『稼ぐ力』を高める-」

※「地域の経済2017」(内閣府)では、都道府県の平均通勤時間に平均時給をかけて通勤による

機会費用(通勤コスト)を算出しています

※総務省統計局「平成23年社会生活基本調査」の結果を元に算出し、千円単位で切り上げを行っています



主な大学・教育機関

大学数・学生数は東北で2番目の多さ

弘前大学 理工学部

理学と工学の調和したユニークな理工融合学部。



「世界に発信し、地域と共に創造する」をスローガンに、様々な産学連携事業等の中心的役割を担う国立総合大学。理工学部では、きめ細かな専門基礎教育と先端的な研究環境のもとで、高度情報化社会および先端技術社会を担う個性豊かで独創性に富んだ学生を育成しています。

八戸工業大学

工学 × デザイン × 地域



「良き技術は、良き人格から生まれる」を教育理念に、人材育成のための教育と、地域の課題を解決するための研究活動を行い、地域社会へ貢献する大学。私立大学としては北東北で唯一の大学院工学研究科博士課程を有し、国内外の様々な分野、地域で活躍できる人材を輩出しています。

八戸工業高等専門学校 (KOSEN)

県内で最も歴史ある工学系の国立高等教育機関。



設立当初から5年一貫教育による実践的な技術者の育成を目標に、産業界、自治体、教育機関、更には国外でも活躍する人材を輩出。平成27年度からは地域の産業に即した人材育成のために学科再編し、「知識」や「技術」だけでなく、自ら学び・行動する「自主性」を育む「自主探究」を実施しています。

青森職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ青森)

「ものづくり」を通した「人づくり」拠点校。



厚生労働省所管の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が設置運営する短期大学校(2年生)。急速な技術革新や常に変化する多様なニーズに対応した「専門知識」、「技能」、「技術」を兼ね備えた「自らのつくりができる」活力ある実践技術者を育成しています。

■教育機関数と学生・生徒数 (令和4年5月1日現在)

大学
11校 15,758名

短大
5校 913名

専修・各種学校
36校 2,455名

高等専門学校
1校 833名

高等学校
83校 29,937名